



保健室からこんにちは



こんにちは。今回は高知県立大学の健康管理センターをご紹介します。

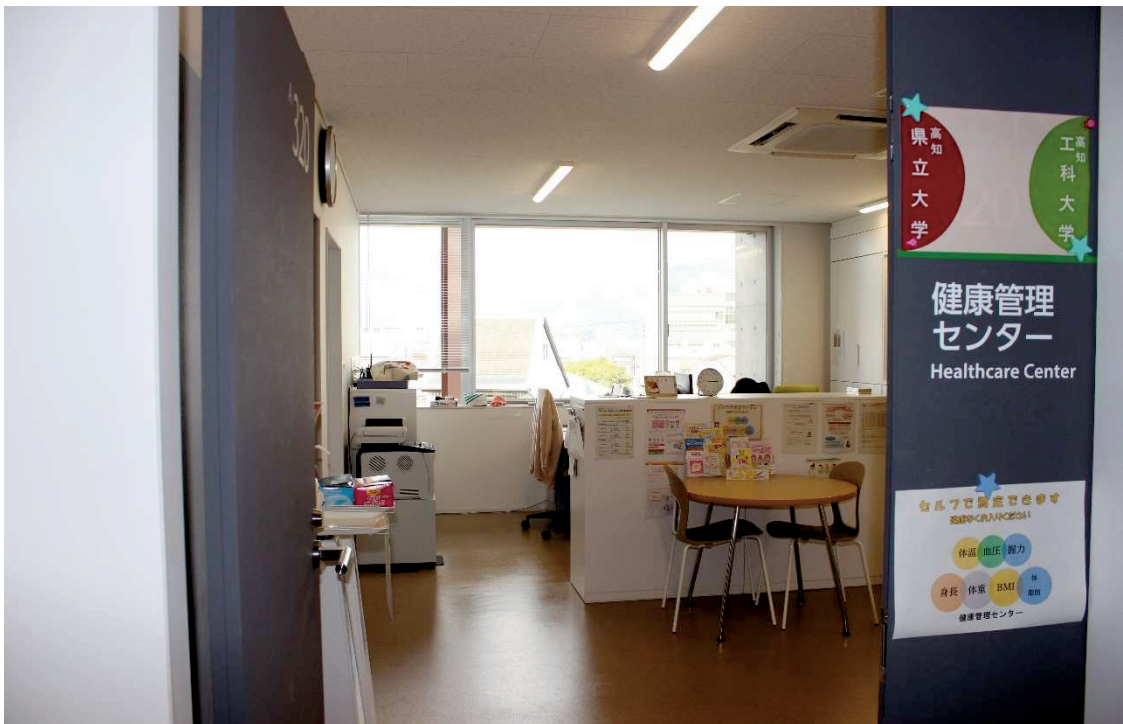


高知県立大学は、昭和 20 年高知県立女子医学専門学校として開学し、その後設立された高知県立女子専門学校を母体に昭和 24 年に高知女子大学として設立されました。平成 23 年には設置者が高知県公立大学法人に変更され、男女共学化により現在の高知県立大学になりました。

キャンパスは、池（看護学部・社会福祉学部・健康栄養学部）・永国寺（文化学部）の 2 キャンパスからなります。現在、約 1,400 名の学生が各キャンパスで学んでいます。

健康管理センターの職員は池：保健師 2 名、永国寺：保健師 1 名、健康管理センター長は看護学部教授が兼務です。業務自体はあまり大きな違いはないかと思いますが、本学が他の大学とは異なるかなと思うところを紹介します。

平成 27 年に、高知県公立大学法人は公立大学法人高知工科大学と法人統合され、永国寺キャンパスでは高知工科大学と高知県立大学両大学が同居しています。そのため、永国寺キャンパスの健康管理センターもお部屋は高知工科大学健康相談室の永国寺担当看護師さんと高知県立大学の担当職員が同居する形で、向かい合った机で働いています。



永国寺キャンパス健康管理センターの入口です。



職員の執務場所です。

スタッフが不在時には在室する方が来所の学生さんに対して、所属大学にかかわらず簡単な手当て等の初期対応を行うなど、お互いが可能な範囲で協力し合う体制を取りながら学生支援にあたっています。2つの大学が同居するということでもまだまだ難しい面もありますが、模索しながら取り組んでいる最中です。



私たち健康管理センターの職員は、日々何かと頑張っている学生さんたちが、元気に学生生活を送れるよう願いながら、先生方や事務部門とも連携を取りつつさりげなく支えていきたいと思っています。